

# 令和元年度 第1回 三重県議会「議員勉強会」

## ■目的

世界が直面する貧困の解消や気候変動への対応等、様々な問題の解消と持続可能な社会の構築を目的として、2015年9月に国連サミットにてSDGs（持続可能な開発目標）が採択された。

日本においても、2030年までの目標達成に向け、地方自治体や民間企業等、様々な主体が今後の施策展開等を計画する際、SDGsの考え方を取り入れようとする動きがみられる一方で、SDGsをどのように活用していくべきか模索中というところも多く見受けられる。

このような状況をふまえ、SDGsの基本理念や県の施策へ反映する際の手法等に対する理解を深め、今後の県議会での議論の参考とする。

## ■日時・場所

令和元年6月26日（水） 13:00～14:30

三重県議会議事堂3階 全員協議会室

## ■講師

たかぎ こすも  
高木 超 氏

（慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任助教）

## ■演題

「SDGsへの自治体の関わり方」

### 【講師紹介】

高木 超（たかぎ こすも）氏

NPOや民間企業を経て、2012年から神奈川県大和市役所の職員として住民協働、厚木基地問題、待機児童対策を担当。17年9月、大学院博士後期課程進学と同時に渡米。クレアモント評価センター・ニューヨークの研究生として「自治体におけるSDGsのローカライズ」に関する研究を行うほか、国連訓練調査研究所（UNITAR）とクレアモント大学院大学が共催する「SDGsと評価に関するリーダーシップ研修」を日本人で初めて修了し、2019年2月から現職。鎌倉市SDGs推進アドバイザーのほか、ミレニアル世代を中心にSDGsの達成に向けて取り組む任意団体（SDGs-SWY）の共同代表も務める。

